

自分らしさと違いを活かしあう社会へ



NPO法人GEWEL
2023
アニュアルレポート

<http://www.gewel.org>

自分らしさと違いを活かしあう社会へ！

G lobal	グローバルな視点で
E ngagement	主体性をもって関わり
W ellbeing	心身ともに良好な状態で
E xcellence	卓越した価値を発揮する
L eadership	リーダーシップ



リーフのシンボルに、GEWELの「G」と「芽生え」や「向上心」の意味を込め、成長する姿を新緑の青葉で表現しました。多様性社会に関心を持つ気持ちが「芽生え」、葉っぱのように「成長」する社会になることを願っています。

異なる個性の一人ひとりが自分らしさを発揮し、お互いにその違いを活かしあう社会を目指しています。見える違いや見えない違いに気づき、異なるものとして尊重する。自律した個が相互に影響しあい、価値を生み出す。インクルージョン社会に成長することを願っています。GEWELはダイバーシティ&インクルージョン（D&I）に共感するひとを増やし、違いを感じる場を提供することで、D&Iの共感者と実践者が広がるよう活動しています。

ビジョン

多様な個性をもつ一人ひとりが、自分らしさを発揮し、違いを活かして成長しあえる社会を目指します

ミッション

私たちはダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の意義を広め、理解を深められる場を作り、一人ひとりが実践できる社会創造に貢献します

ビジョン・ミッション・タグライン

ビジョン

多様な個性をもつ一人ひとりが、自分らしさを発揮し、違いを活かして成長しあえる社会を目指します

ミッション

私たちはダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の意義を広め、理解を深められる場をつくり、一人ひとりが実践できる社会創造に貢献します。

タグライン

自分らしさと違いを活かしあう社会へ！

GEWEL2023年 主事業と評価

1401

SNSフォロワー

205

のべ参加者数

普及啓発

- 交流会
- オープンフォーラム
- D&I基礎・道場

59

会員数

- 情報発信
- オープンフォーラム

Diversity
& Inclusion

調査研究

体験共有

- 会員企画によるイベント
- プロボノ
- ボランティア

8565

web閲覧数

活動トピックス - D & I 研修

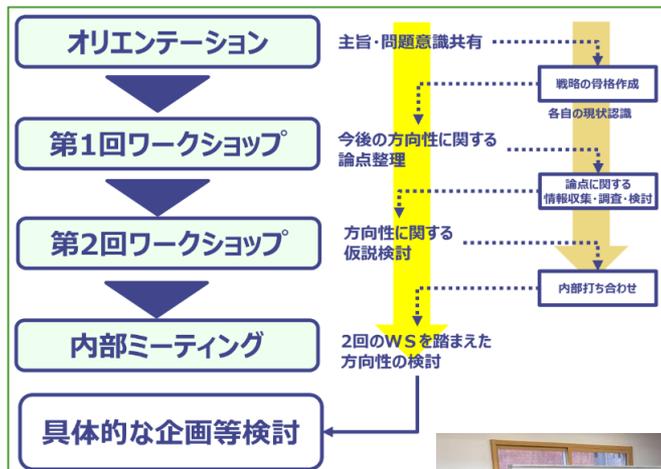
法人組織へのD & I 理解促進として研修事業を提供いたしました。過去に女性活躍推進をテーマに実施した研修も回を重ねることに関心が高まり、経営層、管理職、全社員など対象者ごとに研修を実施するなど展開が広がっています。参加された個人の意識が高まるだけでなく、組織としての取組が加速しています。テーマや方法にも変化が起きています。法整備の影響もあり、女性活躍推進から障害者雇用とLGBTQ理解までテーマ範囲が広がりました。研修のあり方も、知識・情報・事例の習得から対話へと進みました。

D&IにEquityを加える企業が増えています。視点を増やし、これまでの戦略や取組を多様な視点で振り返ることは大切です。同時に、深い対話が求められます。D&Iの専門性を高めつつ、対話を促す役割を担うリーダーが集う場になるよう、今後の施策に生かしてまいります。



活動トピックス - 今後の20年を考えるワークショップ

20年を節目に、理事と事務局によるGEWEL戦略策定のワークショップを半年かけて実施しました。NPOサポートセンター様のご協力により、2022年度から企画し、外部環境の変化を分析し、内部の強みを再認識しながら、約7カ月かけて策定しました。まさにこれからの20年の方向性といえます。そこで出てきた重要なワードのひとつがキャズム（越えられないほどの深い溝）でした。今後はこの戦略を実行に移してまいります。



活動トピックス - GEWELオープンフォーラム2023

GEWEL オープンフォーラム2023 “D&Iのキャズムってどう越える？”
 理事5名が「D&Iのキャズムってどう越える？」というテーマで話を展開。
 ダイバーシティ&インクルージョンの言葉が認知され、考える機会も増えているもの
 の、理解や実践においては根強い課題があります。そのひとつである
 「越えられないキャズム」について、それぞれの立場から意見交換しました。
 実施後のアンケートでは今後の研修やイベントへの期待も高いことがわかり、引き
 続きキャズムをテーマに取り組むこととしました。

さて、D&Iのキャズムって何でしょう？
 どう超えたらいいんでしょうか？

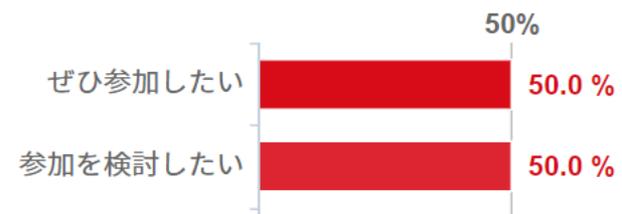
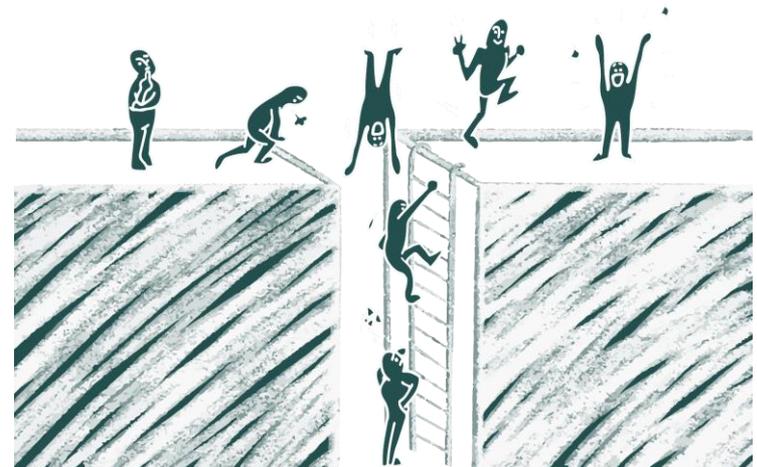
【日時】 2023年12月17日（日） 19:00～21:00

【場所】 Zoomオンライン

【登壇者】 GEWEL理事

【内容】

- ・ 新理事紹介
- ・ キャズム解説
- ・ 皆さんで考えてみましょう



財務報告

業績及び財務状況レビュー

今年度は20年目の節目であり、この先の20年を見据えた戦略づくりに集中した1年でした。ご依頼のあった案件は従来どおり受諾し、無事成功に導くことができましたが、理事メンバーは多くの時間を今後の20年への思考に費やしました。足掛け2年で伴走いただいたNPOサポートセンターさまに感謝いたします。

新たな20年に向け、ターゲットに応じたPRを強化して収益改善に取り組みます。

* NPO法人GEWELでは持続可能な運営を行っていくため、NPO法人会計基準に準拠して財務報告の作成及び税務申告を行っております。また、ご支援いたたく皆様、正会員、賛助会員、法人会員の方々に対して適正な開示に努めてまいります。

収益推移

単位：¥

	2023年12月期	2022年12月期
事業収入	710,000	764,475
会費・寄付金	255,000	408,000
その他	37	1,000,041
収益合計	965,037	2,172,516

純利益推移

	2023年12月期	2022年12月期
正味財産増減額		173,679

財政状態推移

	2023年12月期	2022年12月期
資産合計	3,422,090	4,532,869
負債合計	210,065	170,051
正味財産	3,212,025	4,362,818

団体概要

法人名	特定非営利活動法人GEWEL (通称：NPO法人GEWEL)
所在地	東京都中央区日本橋蛸殻町 1-24-4 井川ビル2F
CONTACT	office@gewel.org
URL	http://www.gewel.org/
代表理事	小嶋 美代子
副代表理事	山田 弘
理事	稲葉 哲治
理事	篠田 寛子
理事	五十嵐 ゆり
監事	柚木 理雄

沿革・活動

- 2003年 Global Enhancement of Women's Executive Leadership 活動を開始
NPO法人GEWELを設立
- 2004年 第1回働く女性の意識調査実施
- 2005年 ダイバーシティ推進活動を開始
- 2006年 第2回働く女性の意識調査実施
- 2007年 ダイバーシティ&インクルージョン目的を明確化
- 2008年 ダイバーシティ推進室長の会実施
管理職のダイバーシティ意識と行動調査を実施
- 2009年 ダイバーシティ・ベンチマーク調査実施
- 2010年 ダイバーシティ・ベンチマーク調査アメリカで実施
- 2011年 Diversity & Inclusion Leadership
- 2012年 GEWEL Entrepreneurs 発足
- 2013年 経産省ダイバーシティ経営企業100選に協力
- 2014年 他団体とのコラボレーションを積極推進
- 2015年 新体制にてスポーツ*ダイバーシティ開始
- 2016年 GEWELオープンフォーラム国内4拠点に拡大
- 2017年 第3回働く女性の意識調査実施
体験共有型D&Iプログラムを開始
- 2018年 東京2020組織委員会「D & I 宣言」イベント
- 2019年 ダイバーシティ認知度調査実施
- 2020年 リモート運営の強化
- 2021年 ダイバーシティ認知度調査実施
- 2022年 D&I道場開始
- 2023年 キャズムを新テーマに設定



自分らしさと違いを活かしあう社会
へ